



ひよどりっ子

第48号
H30.10.14

北区青少年育成協議会ひよどり台支部
発行責任者：支部長 林 喜久治

TEL・FAX：743-0798
編集・印刷：株式会社 北 欧

子どもの成長をみんなで支えるひよどり台に

鴨台中学校教頭 松本 法人

今年の4月に鴨台中学校へ着任いたしました教頭の松本です。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

私にとって子どもたちの成長は本当に楽しみです。しかし、そのためには、子どもたちがしっかりと伸び伸び活躍する場を大人がつくっていかなければならないと思います。高校生、大学生、または学生を卒業して、さらに働ける場というものがあれば、若い人たちはそこでまた社会人として成長していくのです。やはり自分はこういうところで頑張りたいという場所をたくさんつくってあげること、これは私たち大人の責任だと考える今日この頃です。

学校ではさまざまな学習をしていますが、基本的には相反する2つのことをしっかりと教えなければいけません。どういうことかと言いますと、まず子どもたちが大人になった時に困らないように、社会人としての基本的な考え方、マナーなどをしっかりと教えなければなりません。同時に子どもたち一人一人が持っている個性を伸ばしていかなければなりません。一人一人の個を大事にすること、共同生活の中で必要となる周りの人への心遣いも教えなければなりません。場合によっては、相反することなので、先生と保護者の間で行き違いが生まれることもあります。

ただ、先生も保護者も子どもたちが持っているものをどんどん伸ばし、周りの仲間と協力しながら、さらに力を膨らませていく…方法や過程に少しずつ違いはあるのですが、目的は一緒です。

子どもを見守る大人が一つになって、子どもに関わってい

ば、もっともっと大きな成果が出ると思います。学校だけでは子どもは育ちません。保護者、地域、先生、同じ目的を持つ人たちが、しっかりと子どもたちを見守って、子どもたちが活躍する場をいろんなところでつくってあげることが必要です。確かに子どもたちが自分で努力すること、これも大事ですし必要です。ただ、子どもたちは発展途上ですので、自分がどれだけ力を持っているかを知りません。

周りの先生方や保護者の方から褒められる、認められると、自分にはこういった力があるんだと自信が出てきます。そういう自分を大事にする気持ちが出てきたら、もっとこんなことをやりたいとか、あんなこともできるのではないかという風に進んでいくと思います。

自立は、見放して、一人にさせてできるものではありません。周りの人への依存、それも感謝の気持ちというものを持って依存する中で、徐々に子どもたちがつくっていくものであること、それから子どもたちの持っている可能性を伸ばすために、子どもたちが活躍できる場をたくさんつくってやること、これは大人の責任だと思っています。そのためには、保護者、地域、先生が一体となることが大事だと思います。

ひよどり台の子どもたちがしっかりと成長していくことができるように、地域の皆様の力をお貸しください。よろしくお願いいたします。



みなさんが普段からできる防災対策は何だと思えますか。

ひよどり台小学校教頭 織田 訓

1995年1月17日の阪神・淡路大震災以降、子供たちに防災の授業をする機会が増えました。地震が起こった当時の様子や、水や電気、ガスが止まった時に困ること、大きな地震が起こった時にどのように行動すればいいのかということなど、さまざまな観点から学習してきました。その中で「普段からできる防災」について考えたことがありました。

その授業では、1枚の写真を見て考えるところから始めました。その写真は、阪神淡路大震災の直後、倒壊した建物の中に閉じ込められた人を助けようと、多くの人が屋根にかけたロープを引っ張っているものでした。ロープを引っ張っているのは自衛隊の方でも消防の方でも警察の方でもありません。倒壊した建物の近くに住むその地域の方々です。ロープに手をかけ、壊れた屋根を力強く引っ張っている姿が写っていました。

当時、電気やガス、水道はとまり、道路の信号も消えました。道路も段差ができて通行が困難になるなどひどい渋滞が起きました。あちらこちらで家屋が倒壊し、火事も起きました。もちろん、消防の方も警察の方も全てのことに対応できるような状況ではありません。そのような状況で倒れた家の下敷きになった人の救助にあたったのは地域の方でした。

この学習では、普段から地域の方とのつながりや、困った時に困った、助けてほしいと身近な人や周りの人に伝えることの大切さについて話し合いました。では、普段からどんなことができるかと考えた時、相手の目を見て進んであいさつをするということにたどり着きました。当たり前前のようなことだけれども、防災にとってもとても大切なことだということを改めて感じました。

私がひよどり台小学校に来て感心したことは、相手の目を見て自分から先に大きな声であいさつをする児童の姿です。本校の職員だけではなく、玄関にいらっしゃる「見守る会」の方や来校されたお客さんにもきちんとあいさつをする児童がたくさんいます。地域の方と子供たちと大切なつながりが感じられました。学校だけではなく、普段から地域の方が子供たちに温かい言葉をかけてくださっているからだと思います。

これからも、地域の方々とのつながりを大切にする子供たちをしっかりと見守っていきたくです。どうぞよろしくお願いいたします。



ひよどり台に住んで

鶴台中学校PTA会長 大北 郁代

平成30年度、鶴台中学校PTA会長をさせて頂いている大北です。

ひよどり台に住んで15年になりますが、その頃の自分は、PTAの会長をするなど考えもつかなかったと思います。

ひよどり台へ来た時は、まったく知り合いもなくとても寂しかったのを覚えています。子供が出来てもなかなか外へ出る事が出来ませんでした。2人目が出来た頃、上の子が外へ遊びに行きたがるので、半分仕方なく公園へ行きました。

公園へ行くと自分の子供と同じくらいの子供が遊んでいましたが、周りには知らないお母さんばかりで、なかなか入って行けませんでした。私の子供はその頃活発だったので、自分から輪の中へ入り、あっという間にお友達になりました。子供に負けてはいけけないと思い、私もお母さん達に声をかけて知り合いになれました。

そこから、児童館、幼稚園、小学校、中学校とあっという間に12年たちました。今でも親子共々、仲良くさせてもらっています。

そうやってこのひよどり台の地域の中で過ごして来て、

色々な人との出会いがあって、私自身成長して来たんだと思います。

そしてこのひよどり台の住みやすさから、今年度、PTA会長という大役を引き受けられたのだと思います。

地域の方々、学校の先生、保護者の皆様のお力を借りながら、がんばりたいと思います。

これからもご支援、ご協力をよろしくお願いします。



子どものページ



どんどまつり

(中学2年)

1月14日、「どんどまつり」に参加させていただきました。前日の13日に行った竹伐りで切った竹を使用し、地域の人たちが「やぐら」を作っていました。私はその点火役をさせていただきました。点火をすると、周りの人から、「すごい」などの歓声が上がっていて、私は竹伐りなどいろいろな活動をし終えた後の達成感を大に感じる事ができました。また、地域との関わりは必要だと強く感じました。



その後のティッシュ配りでは、点火とは違うものを感じました。一人一人に配るのが恥ずかしく、なかなか人にティッシュを渡す事が出来ませんでした。ですが、勇気を出して渡した時には、「ありがとう」と一人一人から言われてとても気持ちよくなりました。活動を終え、私は、地域とのつながりのため、地域行事はなくてはならないものだ改めて感じることができました。そして、地域行事がさらに発展していくために、これからも、様々な地域行事の役に立ちたいです。

(中学1年)

今日は、どんどまつりに参加して、地域のつながりやなぜその行事が行われているのかなどを知ることができました。聞くところによると、今の時代地域の人々が参加し、運営しているどんどまつりはめずらし



いそうです。だから、このひよどり台のどんどまつりはなくしてほしいと思っています。このひよどり台では、どんどまつり以外にもワイワイフェスタや、春の子ども祭り、などの地域行事が数多くあり、地域と学校等とのつながりが強い土地だと思います。そのため地域行事ごとに私たちの生徒会が参加すると思うので全力を出したいと思います。

ふれあい春の子どもまつり

(中学2年)

今年は子ども委員として2度目の参加でした。昨年とはまた違ったゲームを担当し、苦戦した部分もありましたが、無事にゲームを終えることができました。最初の集合場所からとても近い場所でのゲームだったので、はじめは予定よりかなり多い人数が一度に来たためとても焦りました。釣竿を絡まないように置いていたのですが、何度も入れ替えが起こることで、磁石同士や糸が引っかかってしまい、かなり困難でした。PTAの方や、お手伝いの友達にも手伝ってもらい全員に楽しんで帰ってもらえたように思います。昨年は水槽が1つだったのですが、数を増やしたり、ポイント制度にしたりと工夫することもできました。

1月頃から準備をはじめ、直前の放課後等、多くの時間を使ったように思いますが、たくさんの笑顔を見ることができたので、価値があったな、やってよかったなと強く感じました。1年間、生徒会役員として何度か地域行事に参加させていただいたので、これから12月まで全力で地域の貢献をしていきたいと思っています。今日は本当にありがとうございました。



(中学2年)

去年も参加させていただき、今回は2回目で前よりもしっかり仕事をする事ができました。少しでも地域の人に協力することができてよかったです。これからも協力していきたいです。子ども達が元気すぎて少ししんどかったです。だけど最後まで楽しく過ごすことができてよかったです。来年もし参加できるなら参加してしっかりはたらきたいです。

(中学2年)

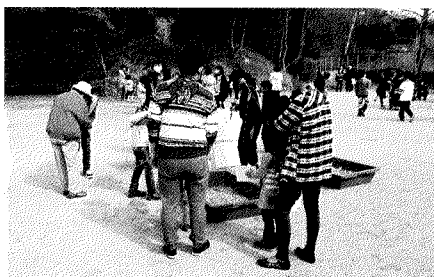
私は昨年手伝いとして春の子どもまつりに参加しましたが、今年は生徒会役員としてゲームの責任者となり、1月頃からコツコツ準備を進めてきました。2回目だったので雰囲気は分かっていました。ただ、そのゲームに必要な物を準備したり企画書を製作、そして会議にも何回も参加したりと、初めてのこともあり、苦労もしました。ですが、今日このゲームで楽しんでいる子ども達の笑顔を見るととても嬉しく達成感がありました。中にはペットボトルボーリングを楽しかったと言ってくれ、何回も挑戦してくれた子もいました。倒したペットボトルを元に立て直したり、ボールを子ども達に渡したり、得点を記録したりと仕事が多くとてもいそがしかったです。経験ができてとても良かったです。朝から1日地域の役に立てとても良かったです。またさまざまな行事で積極的に頑張ります。



(中学1年)

今回、初めてゲームを運営して、ゲームをするのは楽しいけれど、ゲームを教えてあげたり、弾を数えて渡したりして、大変なんだなあということを実感しました。初めてすぐたくさんの子供が来てどうしたらいいか分からないことがありました。でもやっていくうちに慣れていって、だんだんスムーズにできるようになりました。子供が「楽しかった」「ありがとう」と言ってくれ、その時はやりがいを感じました。1時間程の手伝いだったけれど、最後までやりきることが出来、良かったです。ゴム鉄砲がこわれてしまったりした時すぐに対応して動くことが出来て良かったです。

この活動を通していろいろな人と関わりました。この活動で学んだことを活かし、次からの活動もがんばっていきたいです。



(小学5年)

初めて春の子どもまつりの役員をしました。初めは「ママもやるから」と思っていたら、結構難しかったです。

でも楽しかったので、また来年もやりたいです。

(小学3年)

わなげで、ハンコをおす係をしました。いそがしい時はズレて、つくえにおしたりしてしまいました。ゲームしに来る人がいなくなった時に、ほかのゲームをしに行きました。ポイントゲームも自由ゲームも全部おもしろかったです。最後までお手伝いしてとてもつかれたけど楽しかったです。

(中学2年)

今回、初めて「ふれあい春の子どもまつり」の実行委員として参加させていただきました。1月から企画書を作成したり、準備物を集めたりと、初めてのことが多く、この地域行事を作りあげることの大変さを学ぶことができました。そして、当日を迎え、自分が思っていた以上に沢山の子供が来てくれました。普段、なかなか接することのできない地域の方々との交流の大切さを実感することができ、自分自身も積極的に関わることができ、とても有意義な1日となりました。今後も執行部としてこのような地域行事も参加することが多くなると思います。その時には、その日を大切に、精一杯、活躍できるように頑張っていきたいと思います。今回は本当にありがとうございました。

(中学1年)

今回、初めて春の子どもまつりの手伝いに参加しました。春の子どもまつりは輪投げを手伝いました。輪投げが一番始めは10人以上も人が来たので始めはとてもいそがしいものなんだなと思いました。その時は輪投げの輪を配っていたのですが、途中からハンコを押ししたり得点を書いたりするのを手伝いました。その仕事はいそがしい時もあったのですが、人が数人しかいない時はとても暇でほとんどすることがありませんでした。でも30分に1回ぐらいは大人数で来ることがあったので少し助かりました。自分は子どもと話したり接することがとても苦手だったので上手にすることができません。でも今回で少しは子どもと話したり、接することができたので、次参加する時には今よりも子供づきあいがよくなりたいと思います。今回の子どもまつりの手伝いでは、いろいろな子どもと話したり、接することができたのでいい経験ができました。



(中学2年)

今回、ふれあい春の子どもまつりに参加させていただいて、普段子どもとふれあう機会が少ないので、子どもとの接し方が分からなくて自分ではうまくいったかは分からないけれど、子どもの安全面を一番考えて活動をしていきました。昨年のストライクアウトの反省を活かして、的を大きくして玉が入りやすいようにしました。的を大きくしたことで、小さい子どもから大きい子どもまでに楽しんでもらえました。小学生が中心だったので、全員をまとめるのが難しくてもうまいかなかったところは、大人の人にも助けていただいて、なんとか最後までできることができました。今回のことで、改めて地域の支えがとてもあったことを気づいたので、これからもできるところは自分でして、できないことは助けていただきたいです。

ひよどり台地域の安全、見守りを続けよう

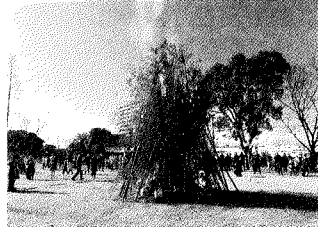
青少年育成委員 高阪 道夫

おじいちゃんの家に戻り中、家の周辺で迷子になり、山中で一人、命の限界ぎりぎりの約3日目、ボランティアの活躍によって、無事発見された2歳の子どものニュースに、子どもの生命力の強さとボランティアの行動力と能力に、日本の国民は大喝采しました。

また、タイ国では洞窟から出られなくなった少年たちのため、国を超えた協力での決死の救出劇が展開されたニュース、これはサッカー少年たちとそのコーチに、生きる力と知恵があったから助かったとも報道されています。

この2件の事故の報道に接し、改めて子どもの命の大切さを痛感しました。

幸い、此処ひよどり台は、永年大きな事件・事故の無い地域となっています。これは多くのボランティア団体や、個人ボランティア、一般人(ボランティアと呼ぶべき)による子どもたちへの安全・



見守りの努力の積み重ねによって得られたものだと自負して良いのではと思っています。

今後も引き続き子どもたちの「安全・見守り」を息長く続ける事が私たち育成会員に与えられた役割として活動を続ける必要があります。

また、普通のおじいちゃんの一人として見守りを続けたいと思っています。

私が主に携わった青少協主催の行事について紹介します。

・「ふれあい春の子どもまつり」

3月中旬、ひよどり台中央公園

小学生、中学生の実行委員会が中心になってゲームの企画、運営へ(大人委員はサポートが中心)

・「どんど」(左義長とも言われる)

1月成人の日、ひよどり台中央公園

前日、中学生が藍那の里山へ竹とり作業奉仕へ

ボーイスカウト(どんど焼き)、野球クラブ(やきいも)、婦人会、PTA(ホットカルピス)など奉仕

ひよどり台支部活動報告

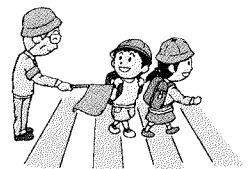
- 30.3.18 第36回ふれあい春の子どもまつり
1月14日、2月12日と子ども委員の熱意のこもった充実した実行委員会での準備により、多くのゲームが計画され、開会時には中学校吹奏楽部の演奏、閉会前には小学校のひよどり台太鼓の演奏で締め、大勢の子ども参加だけでなく、地域の皆様・保護者の方々が駆けつけていただきました。
- 6.10 支部総会(30年度のスタート)
- 6.13 児童館運営委員会
- 7.21 エポック夜店
- 7.26-8.10 交流プラザ ラジオ体操
- 8.12 ひよどり台夏まつり
- 10.14 青少協第2回支部会議
広報誌No.48発行(団地内全4,000戸に配布)



今後の予定

- 30.11.4(日) 秋を楽しむハイキング(しあわせの村)デイキャンプ場で実施。詳しくは別に、学校・保育所などを通じてお知らせします。
- 31.1.14(月) どんどまつり

- 登校時毎日・下校時随時の通学路の交通安全指導
- 定例の夜間パトロールに加えて、夏休み中の7/21のエポック夜店、9/12夏まつりのパトロールを小・中学校PTAの方々と実施
- 夏休み中学校PTAの夜間パトロールに同行
- こども110番の家・店
小学校PTAのご尽力で、172か所のご協力をいただき地域内に所在し、子ども達の安全を見守っていただいています。
- ひよどり台小学校のこどもたちを見守る会(5/12総会)
- ひよどりっ子のびのびひろば(1・2年生毎週木曜日)
- ふれあいのまちづくり協議会(4/14総会)
- ひよどりふれあい懇話会(6/28)
- ひよどり台元気クラブ
- ひよどり台交流プラザ
- ひよどり台っ子応援団



編集後記

秋の行事をお知らせする号です。2学期早々のお忙しい中でのお願いにもかかわらず、原稿をお寄せいただきました皆さまにはありがとうございます。紙面をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。子どもたちの感想文もご覧願います。(中学校PTA)

秋を楽しむハイキング

さわやかな秋の一日をご家族・友だちとハイキングのあと、みんなで楽しくバーベキュー。

ひよどり山プレーパーク共催

- 日 時 11月4日(日) 午前9時集合
- 場 所 ひよどり台中央公園 ⇄ しあわせの村
- 参加費 こども:300円 おとな:500円
- 参加申込 学校などで配布の申込書で10月12日までに

